

「緑の雇用」事業の研修の体系と助成月数(日数)

研修の種類

実地研修(OJT)

【試用期間】
トライアル雇用

最大3ヶ月
(上限60日)



集合研修

(都道府県毎に森林組合連合会等に委託して実施)

実地研修(OJT)

(事業体毎に実施)

【新規就業者】
林業作業士研修
(フォレストワーカー)
(1年目)

28日間程度

【安全講習等】
・普通救命講習
・刈払機取扱作業者
・チェーンソー伐倒等業務
・玉掛け
・小型移動式クレーン運転業務
・鳥獣害対策(網猟・わな猟)

【一般研修(一例)】
・現場作業における安全力
・チェーンソーのメンテナンス
・安全な造林作業
・コンパス測量の方法
・チェーンソーによる素材生産の進め方

実践研修
最大8ヶ月
(上限140日)

(2年目)

29日間程度

【安全講習等】
・不整地運搬車運転業務
・はい作業従事者
・機械集材装置の運転業務
・車両系建設機械運転業務
・走行集材機械の運転業務

【一般研修(一例)】
・森林整備での労働災害
・チェーンソーのメンテナンス
・GPS測量の方法
・かかり木処理の進め方
・安全な伐倒作業の確認

実践研修
最大8ヶ月
(上限140日)

(3年目)

21日間程度

【安全講習等】
・簡易架線集材装置等の運転業務
・伐木等機械の運転業務

【一般研修(一例)】
・素材生産での労働災害
・車両系高性能林業機械のメンテナンス
・森林整備の省力化・低コスト作業
・安全な素材生産作業の確認
・安全な路網開設・維持作業

実践研修
最大8ヶ月
(上限140日)



集合研修

【就業経験5年以上】

現場管理責任者研修
(フォレストリーダー)

16日間程度

【安全講習等】
・造林作業の作業指揮者
・はい作業主任者
・地山の掘削及び土止め支保工作業主任者

【一般研修(一例)】
・作業管理・人的管理、ミーティング・情報共有方法
・コスト管理の考え方・手法
・収穫調査の実践

・目標林型に向けた施業方法
・生産性向上のための作業システム
・森林作業道作設の留意点

【就業経験10年以上】

統括現場管理責任者研修
(フォレストマネージャー)

10日間程度

【安全講習等】
・安全衛生推進者養成講習

【一般研修(一例)】
・合意形成の進め方 コミュニケーションとプレゼンテーション
・施業団地の設定とプラン作成の進め方
・受注管理、外注管理の進め方
・生産性の向上に向けた路網・架線・土場の配置